

# 理科アドバンス講座の取り組み

## ◆講座のねらい

- (1)最先端の科学技術に関する講義聴講・実習等の活動を通して生徒の興味・関心を高めるとともに、大学等での科学系の研究の様子を知り、進路決定の一助とする。
- (2)大学等との連携による教育活動の効果及び生徒の意識変容について考察する。

## ◆講座の概要

- ・対象生徒 1, 2年生のうちの希望者 53名（1年生 28名、2年生 25名）
- ・実施内容

6月1日	附属高校平野校舎	講義「環境とエネルギー概説」	神戸大学理学研究科 山中大学教授
6月15日 16日	附属高校平野校舎	講義「走査型電子顕微鏡を使った微細構造の観察」 実習「電子顕微鏡観察」	大阪教育大学 出野卓也教授
7月22日	京都大学工学研究科	講義「地球温暖化と温室効果ガスに関する現状と将来展望」他 実習「温暖化シミュレーション」	研究所見学 同研究科 越後信哉准教授他
8月1日	大阪市立自然史博物館	講義「大阪になぜクマゼミが多いのか」 実習「セミの解剖」	常設展示・収蔵庫等見学 同博物館 初宿成彦主任学芸員
8月28日	大阪大学太陽エネルギー 化学研究センター	講義「どうすれば太陽エネルギーに依存した社会を実現できるか」 実習「太陽電池」	研究所見学 同研究センター 松村道雄教授
10月27日	近畿大学原子炉研究センター	講義「原子力発電と放射性物質」 実習「放射線測定」	原子炉見学 同研究センター山西弘城准教授他
11月5日	神戸大学理学研究科 理化学研究所神戸研究所	講義「なぜ日本列島はこれほどまでに変動するのか」 講義「地震・津波・大気循環から宇宙へ」 研究所及びスーパーコンピュータ「京」見学	同研究科 山中大学教授、巽好幸教授

多くの講義等はサイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）の支援による。



## ◆生徒の意識（講座終了後のアンケート調査より）

